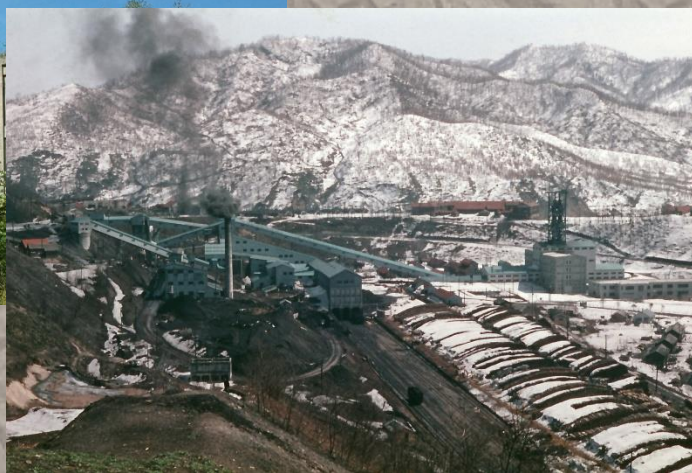


住友奔別炭鉱立坑櫓・周辺施設/三笠市



西側から望む奔別炭鉱の施設群（昭和37年）

～炭鉱合理化期の代表的な立坑櫓～

1960（昭和35）年に深部区域を総合開発するため、ドイツGHH社から技術導入して三菱造船（株）により製造した立坑が建設されました。内径6.4m、捲上深度650m、採掘深度735m、立坑櫓高さ50.52m。炭鉱開発は急激な深部移行をもたらした反面、坑内温度の上昇などの労働条件の悪化で従業員が続々と退職する事態となりました。これを分社化によって乗り切ろうとしましたが、僚山の住友歌志内鉱で大規模災害が発生し、住友赤平鉱へ集中化する経営判断から、立坑開発から11年後の1971（昭和46）年に閉山しました。

住所	〒068-2116 三笠市幾春別町
公開状況	敷地外から外観のみ見学可能（敷地内は立入禁止）
アクセス （自動車）	札幌から約54km 約42分 【道央自動車道 三笠IC降 約17分】
アクセス （公共交通機関）	札幌から約1時間30分 JR函館本線 岩見沢駅降車～中央バス 幾春別町バス停降車～徒歩0.8km
問い合わせ	三笠ジオパーク推進協議会 電話：01267-2-3997 E-mail：mikasa.geopark@gmail.com
URL	http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/geopark/